

山梨大学 教育学部

Faculty of Education, University of Yamanashi

2025

山梨大学 教育学部は、人間の生涯発達を視野に収め、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教育人の養成を目指します。

学校教育課程

教師になろう！

そのために必要とされる本当の学びが、ここにあります。

「なぜ」「どうして」と問うことから学びは始まります。

学校教育課程の授業は、「なぜ」「どうして」という問いと、
発見にあふれています。

M E S S A G E

「教育者」への歩みを 山梨大学教育学部で



山梨大学教育学部は、「教育者」の養成を第一の使命としています。「被教育者」から「教育者」へと向かう学生諸君の変態（Metamorphose）を全力で支援します。

そのために用意しているのが、〈少人数グループワーク型基幹授業群〉を中軸とする体系的な教員養成カリキュラムです。このカリキュラムでは理論と実践の融合を重んじており、1年次から教育現場に触れられるとともに、専門的な学修をはじめられます。何れのコース・系や教育プログラムであっても、卒業時には必ず複数の校種の教員免許状を取得することができます。1対1.3という教員と学生の人数比率を生かした懇切丁寧な少人数教育によってバックアップします。

教員就職をめざす学生諸君を手厚くサポートする体制も整えています。教職支援室を設けており、教職経験豊富なスタッフが一人ひとりの進路実現に1年次から伴走します。各コース・系や教育プログラムなどの教員スタッフも協力して、教員採用試験対策のための講座や個別指導の機会を豊富に提供します。

支援は在学中だけではなく、卒業後も支援していきます。本学部は山梨県教育委員会との連携強化をすすめており、また、ルーツである江戸時代の甲府学問所きてんかん徽典館（昌平坂学問所の分校）の名に因んだ徽典会という大きな同窓会組織もあります。県内唯一の教育学部としての矜持をもち、さまざまな研修会やフォーラムの開催、教育相談事業などを通して、より優れた「教育者」への変態を応援しつづけていきます。

優れた「教育者」への第一歩を、山梨大学教育学部で踏み出してください。

教育学部長
服部 一秀



山梨大学 教育学部 2025

Faculty of Education,
University of Yamanashi

CONTENTS

● 教育学部長メッセージ	1
● 教育学部の特徴	3
● 教育学部での4年間	5

教育学部 学校教育課程

幼小発達教育コース	7
「子どもが好き」のその先へー 幼・小の教育者になろう！	

障害児教育コース	8
幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援	

言語教育コース*	
思考・表現・コミュニケーションの基盤となる言語を、幅広い視点から探究	
● 国語教育系	9
● 英語教育系	10

生活社会教育コース*	
身近な生活から人類共通の課題までを見通す広い視野と実践的指導力を養う	
● 社会科教育系	11
● 家政教育系	12

科学教育コース*	
理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える	
● 数学教育系	13
● 理科教育系	14
● 技術教育系	15

芸術身体教育コース*	
芸術文化や身体運動を通じて、子ども達と遊びを分かち合う	
● 音楽教育系	16
● 美術教育系	17
● 保健体育系	18

山梨県小学校教員養成特別教育プログラム	19
山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する	

● 教職支援室	20
● キャリア・就職	21
● 教職大学院	22
● 入試情報	23

※ 1 年次後期から希望の系に進みます。

学生の学年、卒業生の所属等は取材当時のものです。

山梨大学 教育学部の特徴

豊富な教育実践の場

初年次学校体験・観察実習・教育実習

まず、1年次に観察実習の一部として初年次学校体験活動を行い、授業や休み時間における児童・生徒の様子を観察し、自身が児童・生徒だったころの記憶を呼び覚まします。

2年次の観察実習では、教育実習への導入として先輩が教育実習として行っている授業の様子等を観察・分析することで翌年行う自身の教育実習の具体的なイメージをつかみます。

3年次に、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校のうち、取得したい教員免許状に対応した2つの校種に関して、前期と後期に分け2回教育実習を行います。大半の学生は本学部に近接している附属学校園で行います。本学部教育実習の特徴は、幅広い年齢層の子とも多く接する機会があることです。



学生
Q&A



教育学部で得た知識を
実践でき、大きな学びを
得られる場です。

A. K.さん
(3年生：甲府南高校出身)

Q1 / どこで教育実習をしましたか？

A1 / 前期は5月30日から甲府市立西中学校で3週間、後期は8月30日から山梨大学附属小学校で3週間実習に行きました。

Q2 / 教育実習ではどんなことをしますか？

A2 / 1週目は授業観察などを通して、子ども達への理解を深めていきます。2週目からは指導案を作成し授業を行って、先生方からフィードバックを受け、次の授業に生かします。

Q3 / 教育実習で一番学んだことは？

A3 / 授業を上手く進めるためには、休み時間などでの関わりを通して、子ども達のことをよく理解することが大切ということです。

附属学校園

本学部附属学校園(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)は、大学から徒歩5分圏内にあり、大学に通学する感覚で実習校に通うことができます。また、大学の授業に附属学校園の先生が参加協力するなど、大学と附属学校園との連携が密接に行われています。

学生は附属学校園における公開研究会への参加や授業見学などもしやすく、教育現場を常に身近に感じることができる環境です。



- ① 附属幼稚園
- ② 附属小学校
- ③ 附属中学校
- ④ 附属特別支援学校

教育ボランティア

教育ボランティアは、教育者をを目指す学生が教育の現場に触れて学びを深めることをねらった活動です。

活動の内容は、授業中や放課後の学習指導補助や、学校行事・部活動の指導補助、障害のある児童生徒の支援などです。この活動は「社会参加実習」という科目で単位化されており、30時間の参加で1単位となります。

毎年、約200人の学生が参加しています。子どもと関わることで、教育者として必要なこと、大切にすべきことに気づくことができます。教育ボランティアは社会貢献であると同時に「自己を発見」する機会にもなっています。



学生
Q&A



常に教育現場に触れられ、
教員になるという夢への
第一歩と感じました。

H. M.さん
(3年生：清流館高校出身)

Q1 / どんな教育ボランティアに参加し、どのような活動をしていますか？

A1 / 中学校での授業における学習支援と部活動の支援を行っています。私は大学で数学を専攻しているので、主に数学の授業の補佐をしています。また、高校での放課後の学習支援もしています。

Q2 / 教育ボランティアに参加してみてよかったことを教えてください。

A2 / 私は1年次から教育ボランティアに参加させていただいており、常に実際の教育現場の声に触れることができたため、自分の勉強のモチベーションが高まりました。

Q3 / 教育ボランティアで一番学んだことは？

A3 / たくさんの生徒・先生と関わり、現場の声に触れる機会が多くなったことで、教育に正解はないということを知りました。生徒の実態や環境に合った教育を常に考えていきたいです。

2つの教員免許状を取得

本学部では、卒業に必要な単位(卒業要件)を取得することにより、教員になるために必要な教員免許状を取得することができます。小学校教諭の免許状と、コース・プログラムや教科によって、もう一つ異なる校種(幼稚園、中学校、特別支援学校)の免許状(主免)を取得することになります。卒業要件で2つの免許が取得できることは、本学において幅広い教育能力を取得した証と言えます。

言語教育コース、生活社会教育コース、科学教育コース、芸術身体教育コースでは、1年次後期開始時までには自分の意思で主とする免許状の教科を決定します。必要単位を取得することで、各教科の高等学校教諭の免許状も取得可能です。

また、自分のコース・系・プログラムに関わらず、時間割上、必要な科目が履修でき、単位が取得できれば他の教科の免許状(副免)も取得可能です。多種多様な教育機会に臨むことができる本学部のカリキュラムを通して、このように複数の免許状に出会うことができます。

卒業要件で 取得する免許状	小学校教諭一種	小学校教諭二種	中学校教諭一種	中学校教諭二種	特別支援学校 教諭一種	幼稚園教諭一種	幼稚園教諭二種
幼小発達教育コース	①	②				②	①
障害児教育コース	①				①		
言語教育コース	①	②	②	①			
生活社会教育コース	①	②	②	①			
科学教育コース	①	②	②	①			
芸術身体教育コース	①	②	②	①			
山梨県小学校教員養成 特別教育プログラム	① ②			①	②		

各コース・プログラムにおいて、卒業要件で取得する免許状は①の組み合わせの2つか、②の組み合わせの2つかを選びます。

●所定の単位を取得すると学校図書館司書教諭の資格(教員免許状取得が条件)、学芸員、社会教育士(公財) 日本サッカーク協会公認キッズリーダーの資格、日本語教員養成プログラムの修了証も取得可能です。

少人数教育でキメ細かいサポート

教員1名に対し、学生が1.3名での指導体制で教育を行っています。

少人数グループワーク型基幹授業群によって、教育者に変化・成長していく力、そして教育者として学び続ける力をつけることができます。

1人の教員が100人以上の学生を対象に行っていた従来型の講義を、専門の垣根を越えた5人以上の教員が共同で担当する少人数グループワーク型授業へ転換し、これを中軸にカリキュラム全体を体系化しました。教育や保育などの様々な現場の参観と考察、小・中学校などの授業の観察と分析、模擬授業の実施と省察、教育に関する今日的な課題の検討などを体験することができます。

様々な学問分野の教員が揃っており、豊富な専門科目を提供しています。



教育学部の
教員と学生の比率は **1対1.3**

専門科目は **少人数**

学生
Q&A

N. K. さん
(3年生：厚木東高校出身)

- Q1** あなたの受講している少人数授業の科目名、及び受講者人数は？
A1 数学セミナーⅡという専門科目で、受講者は先生を含め6人です。
Q2 少人数授業の様子は？(一般の授業と比べての違いなど)
A2 先生が講義するのではなく、自分で勉強した内容を他の受講生に発表し、議論するというかたちをとっています。
Q3 少人数授業を受講してみたいところを教えてください。
A3 一人一人の発表の機会をしっかりと確保でき、その発表に対して、先生から意見を頂くことや、学生同士で話し合いながら、学び合える点です。

手厚い教職支援

- 1年次から進路に関する個人面談を行い、一人ひとりに進路の聞き取りを行っています。
- 学校等での教育ボランティア活動を企画し、学生が子どもと接し、子どもへの理解を深める機会を作っています。
- 教員採用試験対策講座や個別指導を高頻度で行い、教員採用試験合格をサポートしています。

—— 教職支援室における個別指導(2022.10～2023.9) ——

総指導回数 指導人数 1人あたりの回数
2579回 ÷ 109人 = 23.6回

教職支援室は、教員をめざす学生のために教員就職を手厚くサポート、バックアップしています！

先輩からの
声



- 指導がとても丁寧でわかりやすく、また継続的にみてもらえたので自分の力の伸びを実感できました。
- 先生方のアドバイスや励ましのおかげで、教師になりたいという気持ちが強くなりました。
- 進路について相談したとき、教師の魅力を十分に教えてもらい、はっきりと目指すことができました。

山梨大学 教育学部での4年間

1 年次

1年次には、まず、教育学部としての初年次教育があります。心理学や教育原理などを学ぶ教職に関する科目、「国語」や「算数」など小学校・中学校の教科に関する科目（初等〇〇科教育学や〇〇科内容論※）、そして、各コース・系・プログラムの基礎科目を学びます。これら以外にも全学共通の教育科目によって、人間形成に関すること、英語やその他の語学、さらに人文科学・自然科学・社会科学・健康科学の4分野にわたる教養教育などを学び、知識、視野を広げます。教職に関する関心を向上させ、自分の将来に向けて、大学で学ぶ基礎体力をつける期間になります。自分の志望する系を決めるのも1年次です。

※ 〇〇には教科名が入ります。



学部入門ゼミ／教育の現在

「学部入門ゼミ」は大学での生活・学修の基本的なオリエンテーションを行い、一般教養を含めた大学でのより高度な専門的知識を修得するために必要な基本的知識および基礎的な技能を学ぶものです。コース・プログラムごとに開講され、それぞれの特徴を踏まえ、将来教員になるための意識づけも含め、大学での基礎を学びます。

「教育の現在」は、教育の本質を歴史、環境、文化などの視点から理解することを目標とした科目で、学校以外の教育現場の訪問や、実務経験のある講師からの講義などがあります。多様な教育現場に関する議論や発表を少人数グループに分かれて行う基幹科目の一つです。

2 年次

2年次からは各コース・系・プログラムの専門科目が本格的に始まります。専門的な内容のより深い理解は、実際に教壇に立ったときの「自信」につながります。

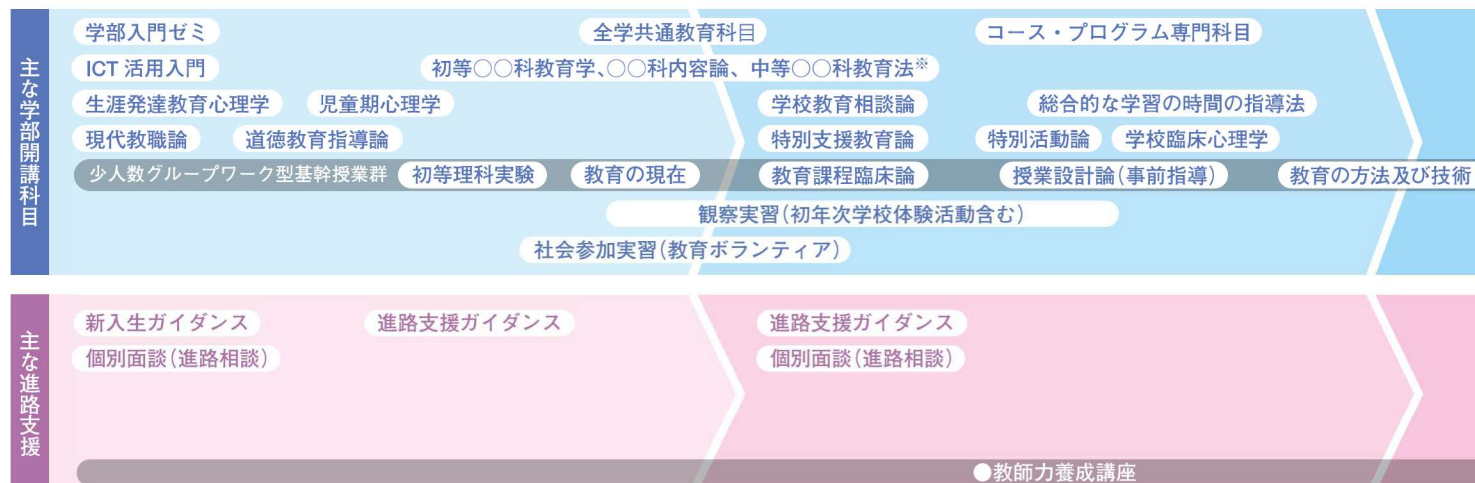
教職についての科目も特別活動や授業設計、授業分析などの内容を深く学びます。また、3年次に行う教育実習の準備として、先輩が行っている実習を見に行く観察実習も2年次の重要な科目です。実際の教育現場を見て、自分の1年後を想像しながら、これまでの教育学部での学びを振り返りつつ、専門科目や教職科目を学んでいきます。3年次に発揮したい実践力の土台を作る期間として、2年次を過ごします。



教育課程臨床論／観察実習

「教育課程臨床論」は、学校教育における教育課程の編成および実現の過程を学校現場の具体的事例を取り上げながら理解し、教育課程の意義や編成方法などを考える科目です。教育課程の編成に関する教師の仕事の実際に触れながら、これまで自分が受けてきた教育を再考し、教育をする側からも考えられるようになることを目指します。これも少人数グループによる基幹科目です。

「観察実習」では3年次の教育実習の準備の一つとして、先輩実習生の授業を観察し、分析します。どのような視点で先輩の授業を見たら良いから始まり、観察した授業について、担当教員・同級生とその内容や手法について議論します。



※ 〇〇には教科名が入ります。

3 年 次

3 年次には、いよいよ教育実習（前期・後期）があります。この実習および事前・事後指導を通して、教職に対するより実践的な力を身に着けます。小学校・中学校の教科に関する科目（初等〇〇科教育学や〇〇科内容論）も 3 年次までに単位の取得を完了させます。専門科目もより本格的になり、多くのコース・系で卒業研究に向けた研究室配属が行われ、自分の選んだ専門分野・テーマについて、研究をスタートさせます。自分で課題を見つけ、それを解決する手段を考える力も、教育現場での実践力につながります。また、卒業後の進路に向けて具体的な対策を始め、支援を受ける時期でもあります。



教育実習（前期・後期）

本学部では、卒業要件で 2 つの教員免許状（小学校+もう 1 つ）を取得します。そのため、取得する 2 つの免許に応じた教育実習があります（前期と後期の 2 回）。幼稚園から中学校、特別支援学校まで、多様な子どもと接する豊富な実践の場で幅広い教育力を育みます。

これまでの教職に関する授業、教科教育法や大学での事前指導を踏まえ、実習に臨みます。実習校の担当教諭の指導、同級生とチームを組んでの検討、大学に戻っての事後指導で、自分自身の教員への目標意識を高め、授業力を磨くことができます。近接する附属学校園や市内の公立学校での実習となります。

4 年 次

4 年次は教育学部での学びの総まとめを行う 1 年になります。卒業論文やゼミナールを通して、それぞれの専門分野・テーマについての研究をまとめます。教職についての科目も理論・実践と総合的な力をつける内容です。多くの 4 年次生が、同級生と一体となって、教員採用試験の準備に励み、教職支援室などのサポートのもとで実際に受験します。また、4 月から教壇に立つ学生に向けた教員の実態や心構えなど実践的な内容の教員就職直前講座があります。卒業時には本学部での学修によって高い教育力・実践力・教科の力をつけた教員として踏み出します。



教職実践演習／卒業論文（ゼミナール）

「教職実践演習」は本学部で学んだ教職・教科に関する様々な知識と教育実習等で得られた実践的指導力との統合を図りながら、教師としての資質の総合的な向上を目指すためのまとめの科目です。実務家教員による現在の教育現場の問題点の講義とそれに対する少人数グループでのディスカッションを中心とした基幹科目の 1 つです。

「卒業論文（ゼミナール）」は大学での学びの総決算です。自ら選んだ研究テーマ（教育に関するもの、教科に関するもの）について、問題発見・解決およびその考察をまとめます。この過程で得る力は社会において非常に有用となります。

コース・プログラム専門科目

卒業論文（ゼミナール）

（情報通信機器の活用含む）

授業実践論（事後指導）

学校制度・経営論

教職実践演習

教育実習（前期）

教育実習（後期）

進路支援ガイダンス

個別面談（進路相談）

教員採用試験スタートガイダンス

教員採用試験対策講座・模試・個別指導

ウォーミングアップ講座

就活スタート説明会

進路支援ガイダンス

スキルアップ講座

ブラッシュアップ講座

教員採用試験（一次・二次・集団討議）対策講座

● 徴典会塾など

幼小発達教育コース

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 幼稚園二種

または

幼稚園一種 + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

特別支援学校一種 など

「子どもが好き」のその先へー幼・小の教育者になろう！

プロフェッショナル

このコースでは、乳幼児期から児童期の子どもの発達や教育に高い関心をもって、将来教育の場で活躍したい人を求めています。

子どもが好きというみなさんの気持ちを大切にしながら、子どもと対話し、その思いや願いに寄り添う教育者になれるような専門的なカリキュラムを用意しています。子どもの発達、子ども理解の視点、保育・教育の内容と方法、環境、思想、歴史、社会的背景、国際的動向、制度・政策の現状と課題などについて、教員と学生がともに、対話を通して広く深く学びます。また、教育実習のほかに、コース独自の科目である「継続観察実習」等で、継続的に附属幼稚園で実践を学ぶ機会があります。

卒業生は、幼稚園や小学校教師を中心に、保育士その他子どもの育ちに関わる仕事に就いています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

幼小発達教育コースでは、幼稚園教諭免許状と小学校教諭免許状の両方の取得が卒業要件となります。そのために、教養教育である全学共通科目、各教科の内容を学ぶ教科専門科目、教職に関わる知識や技術を学ぶ教職専門科目などを履修します。コースの専門科目では、これらを発展させ、教員と学生が対等に議論しながら、教育学・幼児教育学・発達心理学について専門的かつ横断的に学び、これからの教育を探究します。

● 主な授業科目

※授業科目名は変更になる場合があります。

1年次	2年次	3年次	4年次
幼児の発達理解とカウンセリングマインド	保育内容総論 継続観察実習 幼小発達教育基礎論	保育思想演習 教育方法学演習 教育思想演習 比較教育学演習 発達心理学演習 現代の教育問題を考える	保育思想研究 教育方法学研究 教育思想研究 比較教育学研究 発達心理学研究
保育実践演習Ⅰ	保育内容(各種) 保育実践演習Ⅱ		
保育・幼児教育制度論			

継続観察実習

この授業では、附属幼稚園での継続的な幼児観察と、その記録に基づくディスカッションを通して、子ども理解を深めるとともに、保育者の見取りと保育実践のつながり・カリキュラムのあり方について理論的・実践的に考えます。3年次の教育実習への準備にもなっている、本コースだけのオリジナルな専門科目です。



幼小発達教育基礎論

この授業では、コース教員全員による各専門分野の紹介を通して、教育・保育の現代的な研究課題について学びます。教師になるための技術や知識を覚える学びから、社会や人間のあり様へと視野を広げ、そこで行われる教育・保育について、自身の関心にひきよせて考え、調べ、追究する学びへと扉を開く科目です。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 M. Y. さん (甲府西高校出身)

かわいいだけじゃない、子どもの魅力。子どもと関わる楽しさを、一緒に学んでみませんか？

子どもたちと関わることは、とても楽しいことですが、それと同時に難しいと感じることもたくさんあります。でも、子どもたちと関わることで、私たちが子どもから多くのことを学ぶことができます。幼小発達教育コースでは、実践やディスカッションを通して、幼児教育や小学校教育について深く学ぶことができ、学ぶことで気づくことがきっとあります。子どもたち一人一人にしっかりと向き合い、寄り添える、そんな教員を目指して、私も学び続けています。



教員メッセージ

● 岩井哲雄 先生 (専門分野：教育哲学)

学生の成長と夢の実現を応援します。

本コースは、定員13名に対し教員5名を配置する恵まれた環境を活かし、きめ細やかな指導に力をいれています。教員の専門も多彩なので、色々な世界を知り自己を確立するには最適な環境にあります。日頃の学習活動から卒業研究の指導、就職に関する指導・助言まで、みなさんの自己実現を全力で支援します。



障害児教育コース

幅広い専門知識と技能を体得し、あらゆる子どもの多様な発達を支援

障害児教育コースでは、障害のある子どもをはじめとする、あらゆる子どもの多様な発達を支援できる特別支援学校教員の育成を目指しています。

一人一人の教育的ニーズに応えるために、子どもの発達援助に関する専門的な知識や技術をもった教員を小学校などに送り出すことも目指しています。専門科目では、障害のある子どもの教育課程や授業論、発達アセスメントや発達援助法等について、教育学・心理学・生理学等に関する講義や演習、実験、実習を通して専門的・系統的に学びます。

卒業と同時に特別支援学校一種と小学校一種の教員免許状を取得することができますが、その他、学生個人の進路計画によりそれ以外の教員免許状を取得することもできます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

1年次は、特別支援教育に関する基礎知識や障害の概念について学びます。2年次から知的障害・肢体不自由・病弱を中心に、発達障害や視覚障害、聴覚障害、重複障害、その他特別な支援を必要とする子どもとその支援の在り方について学びを進めます。3年次にはこれまでの学びを土台に、障害のある子どもを観る視点や発達を援助するための教材について演習科目や教育実習を通して理解を深め、特別支援教育に関する専門性を高めます。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
特別支援教育の基礎 I・II	知的障害児教育課程論 知的障害児心理学 肢体不自由児心理学 病弱児指導法 重複障害児教育概論 特別支援教育指導法	障害児教育学演習 I・II 障害児心理学演習 I・II 障害児教育研究法 障害児教育教材研究 発達障害児教育概論	卒業研究の主なテーマ 知的障害・肢体不自由・病弱および発達障害などを対象とした、教育学・心理学・生理学に関する研究(フィールドワークや実験、観察など)

知的障害児教育課程論

知的障害のある子どもが通う特別支援学校の教育課程について学びます。「日常生活の指導」や「各教科等を合わせた指導」など特徴のある教育について、実際の学校場面はどう展開されているかを視聴して話し合ったり、学生自らが実際に指導案を作成して模擬授業をしたりして、実践力を高めていきます。



障害児教育教材研究

子どもの状態に合わせた教材教具を、これまで学んできた特別支援教育に関する理論や実習経験をもとに作成します。また、子どもが楽しめる教材作成を通して障害に関する理解を深めます。作成した教材教具は、附属特別支援学校が発行する「教材・教具アイデア集」に収録し、特別支援学校や小学校の先生に配布されます。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 N. H. さん (富士河口湖高校出身)

分からないことを分かるまで、できないことをできるまで、繋ぎの強さによる深い学び

本コースのよさは少人数制を活かした繋ぎの強さ。実習や教員採用試験など、様々な不安もありましたが、先生はもちろん、親身に相談に乗ってくれる先輩や高め合える仲間が存在により、不安ゼロで大学生活を送ることができました。不安を自信に変えることができる。障害児教育コースは、そんな素敵な場所です。



教員メッセージ

● 吉井勘人 先生 (専門分野: 教材教具論)

一人一人の子どもに寄り添い、子どもから学び、チームで子どもの学びを支える教育

現代は、人々の多様な在り方を互いに認め合い、誰もが共に生きるインクルーシブ社会を目指しています。障害児教育では、障害のある子ども一人一人の尊厳を大切に、その子どものよさや可能性を最大限に引き出すことを目指して、チームによる教育を行います。「教育の原点」と呼ばれる障害児教育を学んでみませんか。



言語教育コース 国語教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(国語)

または

中学校一種(国語) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(国語、書道) など

あらゆる観点から国語教育をとらえ、追究する

国語教育系では、学校で学ぶ「国語科」にまつわるさまざまな問題を追究します。そのために、日本語学、日本文学(古典・近代)、漢文学、書写・書道、国語科教育学、日本語教育学など幅広い分野の学習・研究を通して考えていきます。

3年次からは、一人一人が関心のある分野について深く研究し、卒業論文に取り組んでいきます。それぞれの分野のスタッフがそろっていて、きめ細かい指導が受けられることが国語教育系の「強み」です。卒業生の多くは、小学校、中学校の国語の免許だけでなく、高校の国語や書道の免許も取得しています。また、大学で培った教科の専門性を生かして、小学校、中学校国語、高校国語の教員として、教壇に立って活躍しています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

一年生では全学共通科目を中心に、学部入門ゼミ等の学部共通科目、初等国語科教育学など小学校の教科教育学を履修します。二年生では国語学、日本文学(古典・近代)、漢文学、書写書道等の専門科目に加え、中等国語科教育学を履修、更に国語教育の演習もスタートします。三年生からは専門科目の演習に加え、各自一つの研究法(卒論ゼミ)を履修します。四年間を通して、専門的力量をもった国語教員の基盤を養います。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
学部入門ゼミ 初等国語科教育学 日本語教育概論	中等国語科教育学 国語学概論 日本古典文学史 日本文学概論 漢文学概説 書写演習	国語学演習 古典文学演習 近代文学演習 漢文学演習 書道科教育学 国語科授業開発演習	国語学研究法 古典文学研究法 近代文学研究法 漢文学研究法 書写・書道研究法 文学教育研究法

中等国語科教育学 I

中学・高校の国語科の授業づくりについて学びます。生徒が授業を通して、言葉について考え、言葉の世界の奥の深さを感じとっていただけるようになるために、教師がすべきことを考えます。教材価値を生かす教材研究の方法や、多様な考えを引き出すための発問の在り方について、意見交換をしながら考察していきます。



国語学演習

平安時代の説話『今昔物語集』を題材に、ことばの意味の変化や当時の使い方について、学生が調べ発表する授業です。今と変わらないように見えることばが、実は平安時代には全く違う意味・文脈で使われることがあります。気づかなかったことに立ち止まり、調べていくことで、作品の魅力に気づけるようになります。



MESSAGE

学生メッセージ

● 3年生 N. S. さん (金沢学院高校出身)

国語が好きな人、あつまれ！ つながりの中で学びを深めよう。

私は、教師になりたい、昔から好きな国語を活かしたいという思いから国語教育系に入りました。今は、4つの免許と1つの資格取得に向けて日々励んでいます。国語教育系は、学習面はもちろん同級生や先輩と食事をとるなど、生活面も充実しています。国語が好き、もっと知りたいという方をお待ちしています。



教員メッセージ

● 尾形 大 先生 (専門分野：日本近代文学)

もっと国語を好きになれる！
国語の魅力を学び、教壇で伝えられる教員を目指して。

文学研究は教壇に立つ皆さんの大切な土台となります。たとえば夏目漱石の『こころ』は教科書では「下」の後半のみ抜粋されます。文学研究では全体像を明らかにする視点に立ち、作家や語りの問題、同時代の社会状況や価値観、掲載紙、原稿類など多様な分析を試みます。一緒に文学、国語の豊かさを発見しましょう。



言語教育コース 英語教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(英語)

または

中学校一種(英語) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(英語) など

英語を学び味わう楽しさ、英語を教える喜びを知ろう

英語教育系では、英語のコミュニケーション力を身につけながら、英語の体系や英米文学における表現についての探求を深め、効果的な英語の指導を行うことのできる実践力を備えた人材を養成します。具体的には、(1)英語ということばの知識体系の解明を目指す英語学、(2)作品の講読を通し、深い英語力をつけると共に、人生を考え、豊かな心を養う英米文学、(3)聞く・話す・書く等の実践的な英語力を育む英語コミュニケーション、(4)英米の文化について学び、自国の文化との比較も行う異文化理解、(5)英語習得のメカニズムと効果的な教授方法について研究する英語教育学、などを日本人教師あるいは外国人教師とともに学びます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

英語教育系のカリキュラムでは、1年次に「学部入門ゼミ」を履修し、言語教育コース各教員の専門分野を知り、学ぶ領域の全体像をつかみます。2年次からは専門科目の履修が始まり、英語学、英米文学、英語教育学などの分野にわたって専門知識と応用力を身につけます。3年次には自らの研究分野に応じてゼミを選択し、4年次に卒業論文に取り組みます。実習としては、2年次に観察実習、3年次に教育実習を行います。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
学部入門ゼミ 初等外国語科教育学	中等英語科教育法 英語授業実践演習 言語学概論 アメリカ文学史 英語発音法 英語会話	英語教育教材教具論 英語教育の諸問題 英文法演習 英米文学演習 異文化理解 英語ライティング	第二言語習得論 英語学演習 英米文学講読 イギリス文学史 英語スピーチ演習 異文化間コミュニケーション

中等英語科教育法

中等英語科教育法とは、中学校や高校における教科としての英語をどのように生徒に教えるかを学ぶ授業です。この授業では、英語科教育法の理論と技術について学び、実際の英語授業を想定した具体的な課題に取り組むことにより、将来教壇に立つに当たり必要となる基本的かつ重要な指導技術を身につけます。



言語学概論

言語学は、母語話者の持つことばの知識がどのような体系なのかを探る学問です。この授業では、英語や日本語を母語とする人のことばの知識について、音や語、句、文の性質や意味などの側面から具体例を通して検討します。英語などの外国語と日本語には、違いばかりでなく、共通点が多くあることも学びます。



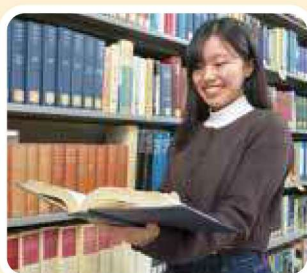
MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 H. H. さん (甲府東高校出身)

仲間と共に高め合いながら、“なりたい自分”を見つける
繋がりを持った深い学び合い

英語教育系では、教育学・言語学・文学など幅広い観点から自らの英語の知識を深めると共に、小中高の教師として実践的な指導力を身に付けることが出来る授業が充実しています。また、豊富な知識を持った先生方、高い目標を持った仲間たちからたくさんの刺激を受け、自分を高めていくことが出来ることも大きな特色です。



教員メッセージ

● 奥村直史 先生 (専門分野：アメリカ文学)

大学生生活は新たな巡り合いがいっぱい。
知的好奇心を持って掘り下げよう。

大学の4年間は自由を満喫できる特別な時期ですが、何気なく過ごしているとあっという間に過ぎでしまいます。身の回りの出来事や授業で習ったことなど、なぜそうなの？と思う知的好奇心を大切に、自分なりの「わかった」を追及してください。しかし、やりすぎは“Curiosity killed the cat.”と諺にもあるのでご用心。



生活社会教育コース 社会科教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(社会)

または

中学校一種(社会) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(地理歴史、公民) など

「社会は暗記科目だから」なんて言わせない！

地理・歴史・哲学倫理学・法学・経済学・社会科教育学などを専門とする研究者を擁し、社会を深く知るための教養と、高い実践力をもつ教員の養成を目指しています。

1年生の秋に社会科教育系への所属が決まり、2年生の秋に卒業論文の指導教員が決定します。3年生からは教員の指導のもとで各分野の専門的な研究を行い、4年生で卒業論文を執筆します。既存の知識を「獲得」するだけでなく、その「獲得方法」や「創出方法」を、さまざまな学問を通じて身につけられるのが社会科教育系の特徴です。小学校と中学社会科のほか、高校地歴・公民の免許も取得できます。卒業後は半数以上が主に小中学校の教員として活躍しています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

1年次では学部入門ゼミのほか、社会科内容論などで社会科の各分野の導入を行います。2年次には、概説・概論などの必修科目を履修し、社会科を構成する全分野の基礎力を身に付けます。3年次では、卒論の指導教員のもとで、演習・実習などのゼミを選択して各自の専門分野を深めるとともに、教育実習での実践を試みます。4年次では、教員採用試験などの就活を進めながら、4年間で学んだことを卒業論文にまとめます。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
学部入門ゼミ 社会科内容論 初等社会科教育学	中等社会科教育法 日本史概説 地理学概論 法律学概説 哲学概論 社会科教育学概論	日本史演習 西洋史演習 地理学野外実習 経済学講読 哲学倫理思想史 社会科授業構成論	歴史学特別演習 地理学演習 経済学演習 哲学倫理学演習 社会科教育学研究法 卒業論文

社会科教育学概論

「社会科」とは、どのような教科であり、どのような教科ではないのでしょうか。いかなる教育こそが「社会科」の教育と呼ぶにふさわしいのでしょうか。そのような教育をどのようにして可能にすることができるのでしょうか。これらの問いを受講者が教育実践に関する個々の具体的なテーマに即して追究します。



経済学講読 I

社会を理解し、人に説明するためには、様々な資料を扱う必要があります。そこで本授業では、数値を解釈し、説明に用いることができるよう、計算や加工の方法を教えます。なお、ただ表計算ソフトを使って処理するだけでなく、定義や方法を確認し、説明する内容を慎重に準備することも説いています。



MESSAGE

学生メッセージ ————— ● 4年生 K. S. さん (静岡県立焼津中央高校出身)

部活動に、研究に、
『青春』を駆け抜けよう！

史学、地理学、経済学、哲学、社会学、法学といった社会科に関わる様々な分野を学べるとともに、教師として実践的な指導力を身につけることができます。また、陸上競技部の一員として、仲間達と共に切磋琢磨してきました。OBOG、地域の方々と一緒に、山梨県内の陸上競技に携わらせて頂けた経験は、とても貴重なものでした！



教員メッセージ ————— ● 相澤康隆 先生 (専門分野：哲学・倫理学)

大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きること。

私の専門はギリシア哲学で、近年はソクラテスを中心に研究しています。ソクラテスは「大切にしなければならないのは、ただ生きることではなく、よく生きることだ」と言いました。哲学を、そして社会科のその他の科目を学ぶことを通じて、よく生きることについて学生たちに考えてもらいたいと思っています。



生活社会教育コース 家政教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(家庭)

または

中学校一種(家庭) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(家庭) など

持続可能な社会をめざして明日の生活を創造しよう

私たちの生活をよりよくしたいと思いませんか? 自分らしく、支え合いながら、豊かに暮らしたいと思いませんか? 私たちの日々の暮らし(生活)の基礎となる「家庭」を中心に、生活を科学するのが「家政学(生活科学)」です。この家政学を学問的基盤とし、人間、社会、環境とのかかわりを重視し、よりよい暮らしを創造・実践していくのが「家庭科」です。近年、生活にかかわる課題は多様化・重層化しつつありますが、これらの課題の解決と持続可能な社会を構築していくために家庭科では多様性(ダイバーシティ)などグローバルな視点を大切にしています。

自立・共生と豊かな暮らしの実現を目指して未来を切り拓く家庭科について、共に学びましょう。



ちらし寿司・茶碗蒸し・わらびもち

● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

小学校及び中学校・高等学校の家庭科教員免許に対応し、被服学、食物学、住居学、家庭経営学、保育学の各専門領域と、教科の理論や指導法を学ぶ家庭科教育学をバランスよく学べます。授業は、講義のほか実習・実験・演習など多様な学習形態を取り入れ、講義で学んだことを知識・技能として定着させることができます。生活者として、教員としての高い実践力を身につけられるようなカリキュラムとしています。

● 主な授業科目

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
初等家庭科教育法 家庭科内容論	中等家庭科教育法 被服学概論 食物学概論 住居学概論 家庭経営学概論 保育学	中等家庭科授業演習 被服科学 食生活論 住居設計・製図 子ども文化論	家庭科教育学 食物学実験 家族関係論 卒業論文

被服学概論(被服実習を含む)

この授業ではスモックと浴衣をつくります。身体を包むには意外と大きな布が必要で、スモックなら 110 cm 幅の布を 2m くらい、浴衣なら 36 cm 幅の布を 11m くらいになります。これを和洋の縫製技法を駆使し、衣服の形にしていきます。製作は大変ですが、体験することで得る理解と出来上がった時の喜びは格別です!



家庭経済学

写真は、担当教員が作成した子どものおこづかいに関する「すごろく教材」を試行しているところです。この後、家庭や学校でどのように金融経済教育を進めたらよいか、各自の経験を踏まえてディスカッションしました。家庭科教員として指導できる基礎知識をつけ、また自分の生活にも活かせるようにします。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 S. A. さん(甲府南高校出身)
N. O. さん(甲府第一高校出身)
H. H. さん(新潟県立新潟南高校出身)

アットホームな家政教育系で、実生活にも役立つ多くの学びを得ることができました。

家庭科の専門的な知識を持った熱心な先生方から、一人ひとり丁寧な指導を受けることができます。各分野の授業で学んだ内容は、家庭科の教師になるための学びとしてはもちろんですが、毎日の生活にもとても役立っています。アットホームな雰囲気の中で楽しく家庭科を学ぶことができ、充実した学生生活を送っています。



教員メッセージ

● 志村結美 先生(専門分野: 家庭科教育学)

家庭科は「生活」を科学する教科です。よりよい生活について一緒に考えませんか?

家庭科は私たちの「生活の営み」そのものを真ん中におく教科。それは、生活の営みを「人ごと」では無く、「自分ごと」として捉えることから始まります。さらには、自分だけでは無く、共に生きる多様な人たちの生活や環境、今だけでは無く、将来の生活まで思い描くことが大切です。よりよい生活の創造をめざして共に考えましょう。



科学教育コース 数学教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(数学)

または

中学校一種(数学) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(数学) など

数学で考え、数学で表現する力を育てるプロになる

数学は現代の高度情報化社会において、学問としてその社会の発展を促すだけでなく、その社会で生き抜く上で大切な言葉と論理的な思考力を与えるものです。そのため、小学校から高等学校までの学校教育において、子どもたちに本質に迫る算数・数学教育を行うことが重要です。数学教育系では、小中高の算数・数学の内容だけでなく、その背景にある専門的な数学の知識やその考え方を身につけること、子どもたちの思考や知識の獲得の仕方を学んで教材開発や学習指導を創意工夫して実行できることを両輪とした教育を行います。結果として、数学の専門知識をもち、それを的確に表現し、子どもたちの考える力を育成できる教育のプロを育てることが目標です。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

数学教育系では、数学教育学、代数学、幾何学、解析学、確率・統計学などを講義・演習を通じて学びます。数学の専門的な知識を確実にするとともに、算数・数学の授業で何をどう教えるかや児童・生徒の思考についても考えます。3年次からは数名ずつのそれぞれ興味のある専門のセミナーに分かれて、各自の研究テーマに取りかかり、現代数学や数学教育学の知識と考え方を身につけ、4年次に卒業論文として仕上げます。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
線形代数学 微分積分学	中等数学科教育法 集合と写像 関数と数列 立体の幾何学 微分方程式 確率論	数学教育学習論 関数の空間 曲線の幾何学 数理統計学 複素関数	数学教育認識論 卒業論文の主な分野 数学教育学 統計学 結び目理論 偏微分方程式論

集合と写像

例えば、自然数と整数はどちらが「多い」でしょうか？この質問は集合と写像を学ぶと答えられます。現代数学はどの分野でも集合と写像の言葉で記述されています。この授業では命題と論理、集合、写像、同値関係など、数学を学ぶ上で基礎となる概念・仕組みを理解し、その論理的な表現方法について学びます。



中等数学科教育法

数学の教員を目指すには数学教育学を学ぶ必要があります。中学校で扱う定理等を検討し高校とのつながりを考察すると、これまで分かっていたと思っていた内容の理解がさらに深まります。この理解を基にして、生徒が自ら考え判断できるような学習指導を目指し、数学の教材研究、授業研究をこの授業では行います。



MESSAGE

学生メッセージ

2年生 N. K. さん (諏訪高校出身)

数学の教員になるための "すべて" がここに 있습니다。

数学教育系では教育学や専門的な数学の充実した学びが行えるのは勿論、同じ目標を持つ仲間と共に活動できる非常に素晴らしい場所だと感じています。また、実習等で数学を通して現場の子供達と触れ合うことは非常に楽しく、幸せも感じられます。数学教員を志す方にとって最高の環境であることは間違いありません！



教員メッセージ

中村拓司 先生 (専門分野: 結び目理論)

数学を通して「なぜ？」を「なるほど！」に変える、そんな体験をともにしていきましょう。

私の専門は結び目理論という幾何学の一つです。空間の中の結ばれた1本の輪がほどけているかどうかを数学的に判定するという分野です。学生のころに、こんなものが数学の対象になるのかと面白く感じ、そのまま現在に至ります。一緒に数学の自由さ・楽しさ・面白さを学んで、それを伝える教員を目指してみませんか？



科学教育コース 理科教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(理科)

または

中学校一種(理科) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(理科) など

理数離れに立ち向かい、自然科学の楽しさを伝える

理科教育系では物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の5分野を深く学べる講義・演習、実験・実習等、広範なカリキュラムを開設しています。また、希望する何れかの分野の研究室に入り、一人の教員に対して数名の学生という指導体制のもとで卒業研究を行います。理科教育系の学生は卒業研究を通して、自然科学を論理的にわかりやすく説明できる能力、つまり実践的教育能力を身につけることができます。さらに、理科の教員免許以外にも山梨 CST (コア・サイエンス・ティーチャー) という山梨県における理科の中核教員としての資格も取得できます。理科を深めその魅力を伝えたいと思っているなら、是非、理科教育系で理科の本質やその伝え方を学びましょう！



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

理科関連科目として、1年次は生物学一般、地学一般、初等理科実験、化学実験、地学実験、初等理科教育学、2年次は理科教育教材分析論I、物理学一般、化学一般、物理学実験、生物学実験、中等理科教育法、理科教育学実験、3年次は理科教育教材分析論IIを履修し、4年次は理科教育課程論を履修し、卒業研究を行います。その他、電磁気学、熱力学、有機化学、無機化学、植物学、多様性生物論、地球変動学、地球環境史、野外実習等も履修します。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
生物学一般 地学一般 初等理科実験 化学実験 I・II 地学実験 I・II 初等理科教育学	理科教育教材分析論 I 物理学一般 化学一般 物理学実験 I・II 生物学実験 I・II 中等理科教育法 理科教育学実験	物理学／化学／生物学／地学／理科教育学セミナー I・II 理科教育教材分析論 II	卒業論文 理科教育課程論

生物学実験

生物学実験では野外に出て学内の草や木、川に生息する生物を採集して観察したり、基礎から顕微鏡の使い方を学び、種子植物の花粉やその発芽、染色体、減数分裂、シダ植物の胞子などの観察を行ったり、ザリガニ、二枚貝、フナ類の外部及び内部形態の観察や同定、自分の DNA 抽出・増幅・検出などを行ったりします。



山梨 CST (コア・サイエンス・ティーチャー)

山梨 CST 養成プログラムでは、山梨県における理科の中核教員(山梨 CST)の養成を目指しています。多くの学生が受講しており、理科の中核教員としての資格認定を受けています。山梨県立科学館での科学工作や天文実習、県内の最先端科学施設や富士湧水の里水族館の見学など、山梨の魅力を伝えるための様々なプログラムを受講できます。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 Y. K. さん (巨摩高校出身)

実験や研究を通して専門性を高め、理科の面白さを再発見できます。

理科教育に関する全ての分野で実験を行って知識や技能を身に付ける中で、自分の興味のある分野を選択し、より深く研究できます。また、分野ごとに高い専門性を持った先生方から、すぐに指導を受けることができます。実際に自分の目で見たり、経験したりすることを通して理科の面白さを感じて欲しいと思います。



教員メッセージ

● 杉山雅俊 先生 (専門分野: 理科教育学)

子どもの科学的な探究を支えるために理科教育学を共に探求しましょう。

理科教師は、自然科学に詳しいだけでは務まりません。子どもに対する理解を深めたり、教え方を習得したりしなければ科学的な探究を支えることはできません。現代の教育は、子どもたちの探究する力の育成が重要視されています。その実現のためには、教師自身が理科教育学の在り方を絶えず問い続けていくことが求められます。



科学教育コース 技術教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(技術)

または

中学校一種(技術) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

中学校一種(数学) など

高等学校一種(工業)が取得可能

理論と実習を通して「ものづくり」の考え方を学ぶ

技術教育系では、生活や社会において様々な技術が複合して利用されている現状を踏まえ、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野における重要な概念等を基にした教育を実施しています。また、安全・安心な社会の構築、職業人としての倫理観、環境保全やエネルギーの有効な活用、産業のグローバル競争の激化、情報技術の技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人を育成する教育を行っています。技術教育系では、科学技術における「ものづくり」を基本としつつ、単に「物を作る」ということでなく、理論・実験・実習を通してその根底にある科学的な見方や考え方を学ぶことができます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

技術教育系のカリキュラムは、材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の専門分野の基礎理論を始めに学習します。その後、実習を行うことによって、各分野の理解を深めるとともに、各分野を融合した総合的な技術を学びます。仕組みや構造を理解して単純に「物を作る」ということではなく、科学技術における「ものづくり」を基本とし、その根底にある科学的な見方や考え方を修得するために学んでいきます。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
電気回路 材料加工学 金属工学 木材工学	機械工学I 電気応用概論 金工設計製図 金属加工実習I 電気基礎実習 中等技術科教育法I	情報概論I 栽培学(実習を含む) 機械基礎実習I 電子工学実習 計算機実習I 中等技術科教育演習I	機械基礎力学 電子工学概論 論理回路 卒業論文

計算機実習 I

中学校技術の情報についての理解を深めるために、コンピュータを利用した実習です。1人1台のRaspberry Piを使用して、Linuxの操作やエディタ、ファイル操作、ネットワークの基礎について実習を通じて学びます。ScratchやPythonを利用したプログラミングも実習に含まれており、論理的思考力の養成にもなります。



栽培学(実習を含む)

中学校技術の生物育成分野に関する基礎的な知識と技術の理解を目的として、講義と実習を実施します。気候や立地に適応する各作物の栽培特性を習得し、土壌の化学性、物理性を知り、その上に生育する作物の生理的な特性を理解します。実習では、キャンパス内の畑で野菜を育て、種まきから収穫まで行います。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 Y. R. さん (御殿場高校出身)

少人数授業で、質問や相談に丁寧に对应してもらえ、質の高い授業や実習に取り組めることが魅力

技術に関する様々な分野の専門的な学習や、木材加工や金属加工などの実習授業があり、とても充実した学校生活を送っています。少人数で授業を行っているため、気軽に質問ができ、理解を深めることのできる質の高い授業に取り組めていることも魅力的です！また現在、数学科の免許も取るために数学科の授業も履修して勉強に励んでいます。



教員メッセージ

● 山際 基 先生 (専門分野：情報工学)

生活が便利になる技術から人生を楽しむ、豊かにする技術までを育む。

「技術」を通じて様々な考え方や新たな発見をしてください。技術は人間にとって不可能であったことを可能にできました。これからは新たな技術が生み出されることでしょう。講義や実験・実習で得ることは、教員になるために必要となるだけではなく、生活に役立ち、充実した人生をおくれることにつながります。



芸術身体教育コース 音楽教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(音楽)

または

中学校一種(音楽) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(音楽) など

「感じる・表現する・創作する喜び」を分かち合う

音楽教育系では、音楽能力の専門性を高め、それを教育現場など社会へ還元するための応用力を養うことを目指しています。声楽、ピアノはもちろん、音楽理論や東洋・西洋音楽史、管弦打楽器・邦楽器・リコーダー実習、指揮法などの音楽専門科目や、初等・中等音楽科教育法など教職関連科目をバランスよく学ぶほか、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽教育などのいずれかの分野を選択し専門的に学習します。

また、一般の方にもご来場いただいている年4回の「水曜イブニングコンサート」や、県内のホールを会場に盛大に開催される卒業演奏会など、演奏や作品の発表機会が多いことも、音楽教育系の特徴の一つです。きめ細やかな少人数制で、伸びやかに個性を育てます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

音楽科の学習指導内容である4つの領域「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」を万遍なく履修できるカリキュラムとなっています。

音楽科教育や各専門領域について幅広く学び実践する力を身に付け、教科等の専門教養や持続的変態力を音楽の教材研究や授業づくりへと発展させていきます。教職関連科目と音楽専門科目をバランスよく学ぶことで、人や社会への関心を持ち他者と協働する、教職への熱意や教職教養を養います。

● 主な授業科目

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
声楽実習 I・II ピアノ演奏実習 I・II 作曲基礎実習 I・II 合唱 I・II ソルフェージュ基礎 管弦楽基礎研究 I・II・III	声楽演習 I ピアノ実習 音楽理論 I・II 邦楽器実習 音楽史 I 合奏法	ピアノ アンサンブル I・II 音楽史 II 現代音楽演習 指揮法	歌唱芸術演習 ピアノ特講 声楽特講 音楽学特講 作曲特講 卒業論文

合奏法

2 年次前期で履修する「合奏法」の授業では、主に作音楽器を使用して、あらゆる音楽的要素をコントロールすることで音を混ぜ「サウンドさせる」技能や、他の人の演奏から多くのことを知覚・感受し、瞬時に自身の演奏に反映させて、表現のバリエーションを揃えていく合奏に欠かせない基礎的なスキルを実践的に学びます。



水曜イブニングコンサート

水曜イブニングコンサートは、日頃の研鑽の成果を披露する演奏会で、年に4回開催されています。一般に公開され、音楽を分かち合う生きた学びの場となっています。自分の力の限りを尽くして物事に取り組み、その成果を聴いて頂くという体験は大きな自信になり、人生を通しての財産となります。



MESSAGE

学生メッセージ ————— ● 4年生 S. E. さん (甲府西高校出身)

音楽を学び、音楽を考え、音楽を表現する。あとは楽しむ！

音楽の教員になるためには、幅広く音楽を学ぶ必要があります。ピアノの経験は多少あるものの、初めての声楽や作曲などは苦戦の連続です。しかし、同級生や先輩方から多くの刺激を受け、楽しく学んでいます。また、授業以外にもさまざまな発表の機会があり、その経験を通して、自分を高めていくことができます。



教員メッセージ ————— ● 池山洋子 先生 (専門分野：ピアノ)

音楽は、音を使った他者とのコミュニケーション

音楽を創作、演奏するには「自分の頭で考えること」が大切です。楽譜に書かれている音符や記号が何をどのように表現するために書かれているのか、論理的に読み解いていくのです。そしてまた、音楽の源は人間の感情です。音楽を深く学ぶことで、人間を理解し、共感する豊かな心を育むことができますと確信しています。



芸術身体教育コース 美術教育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(美術)

または

中学校一種(美術) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(美術) など

見て、触って、感じながら 美術を通して教育を探究

美術教育系では、「美術科教育」「絵画」「彫刻」「デザイン」「工芸」「美術理論・美術史」の科目が開講され、小学校の教員免許・中学校(美術)・高等学校(美術)の教員免許を取得することができます。

実際に見て、触って、感じながら世界を発見していくことは、私たちが生きていく上で大切なことです。また、さまざまな美術作品や表現に出会うことで、多様な文化や思想に触れることができます。美術と美術教育を学んで、子どもが成長するなかで自ら表現することの意義について、考えを深めていきましょう。

美術を通して、教育について広く深く学び、考え、社会や地域でさまざまな環境にいる子どもたちに寄り添う力を養っていきます。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

美術教育系では、1年次より専門科目群から授業を選択して履修し、絵画や彫刻、デザインや工芸といったさまざまな表現について学びます。そして、子どもたちの成長のなかでの美術の意義について考え、図画工作科や美術科の教員としての資質・能力を身につけます。3年次には、教育実習を体験します。最終学年では、大学生活の集大成として美術教育に関する卒業論文を作成し、卒業論文発表会で口頭発表を行います。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
初等図画工作科教育学	中等美術科教育法Ⅰ・Ⅱ 造形計画演習	中等美術科教育法Ⅲ 絵画表現	中等美術科教育法Ⅳ 立体造形
図画工作科内容論	彫塑	実材彫刻	環境デザイン
学部入門ゼミ	基礎構成	視覚伝達デザイン	ガラス工芸
	木材工芸	陶芸基礎演習	美術史Ⅱ
	美術理論	美術史Ⅰ	卒業論文

中等美術科教育法Ⅰ～Ⅳ

中学校美術科と高等学校芸術科(美術)(=中等美術科)の授業をするために必要なことを学びます。まずは授業の基本的な考え方などを講義で学びます。ただし、授業のやり方に正解はありません。ですから、さらに自分で美術の授業を構想し、模擬授業を試み、課題を発見して解決することで学びを深めていきます。



卒業論文発表会(卒業制作展)

美術教育系では他の系と同様に卒業論文を課しています。美術科教育、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史のいずれかの分野を選び、それぞれを専門とする教員の指導を受けます。その成果を卒業論文発表会にて公開し、実技を専攻する学生は卒業論文に加えて卒業制作展での作品発表も行います。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 W. M. さん (松本第一高校出身)

木の温もりを感じながら、作品を通じて思いを世界に。

2年の授業で初めて木彫を経験しました。素材の魅力や性質を知り、対話するかのように彫っていきます。その後、山梨県内や海外で、触るという形で鑑賞してもらう展覧会に出品しました。作品に込めた思いが鑑賞者に直に伝わっているようでした。多くの人と心を通わせ、新しい発見が生まれることを学びました。



教員メッセージ

● 平野千枝子 先生 (専門分野: 20世紀の美術)

あなたの生活のなかに、美術はありますか？
みんなの豊かな人生を探しましょう。

戦争によって世の中が大きく変わったあと、芸術家たちも、「美術」ってどんな意味があったのかと、深く考え直しました。私は美術の歴史のなかでも、とりわけそうした時代を研究しています。自然環境やメディア環境が大きく変化する今、美術を通じて世界をていねいに感じとり、伝えることができたらいいですね。



芸術身体教育コース 保健体育系

取得免許(卒業要件)

小学校一種 + 中学校二種(保健体育)

または

中学校一種(保健体育) + 小学校二種

学生が近年取得したその他の免許

高等学校一種(保健体育) など

生涯にわたる心身の健康を築き、明るい未来を切り拓く

人間の知的能力は知育のみで育まれるわけではなく、健康な身体と健全な思考を育む保健体育を土台に創出されます。保健体育系では、世の中を生き抜く頑健かつ柔軟な心身を標榜しながら、人文・自然科学と体育の融合に基づく教育体制を目指しています。そして日々健やかな暮らしを送る見識を育む学校教育の担い手を輩出すべく、スポーツに打ち込みながら、体育・スポーツ学や体育科教育学など各分野の基礎を学習する環境を揃えました。加えて保健体育系は、他教科・他の学問領域にも通ずる身体運動の諸科学について幅広い見識を研鑽できる組織でもあります。こうした教育・研究環境のもと、学生は頭と身体の双方に汗をかきながら、日々理性と野性を研ぎ究めています。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

保健体育系では、体操、陸上、水泳、球技などの実技科目、運動学、体育心理学、運動生理学、体育社会学、衛生学などの講義科目をもとに、将来、小学校や中学・高等学校において体育及び保健体育の教育に従事する専門的な資質を備えた教員の育成を行っています。さらに保健体育科教育法や中等保健体育科教育法などといった教職科目において、保健体育科教育における教材研究、授業実践などについて研鑽を深めていきます。

● 主な授業科目

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
体操	運動学	ダンス	球技
陸上	衛生学	栄養学	運動学演習
水泳	運動生理学	体育原理	運動生理学演習
武道・体づくり運動	学校保健管理	体育社会学	体育心理学演習
解剖・人体生理学	保健体育科教育法	体育心理学	卒業論文
	中等体育科教育法	体育経営管理学	

中等保健体育科教育法Ⅱ

中等保健体育科教育法Ⅱは、主に3年次に教育実習を控えている2年生を対象に模擬授業を中心に行っています。学生自身が教師役を経験することで、指導案の作成方法や授業中の指導方法などを身につけることを目的としています。また、生徒役を経験することで、その授業の優れた点だけでなく改善点などについてまとめ、より良い授業を作る視点も養います。



運動生理学演習

運動生理学や神経生理学的な実験実習を教員の指導の下で一通り経験し、その後に自ら実験を企画・実施して、結果をまとめるといった体験をします。これにより、ちょっとした疑問や興味のある事を科学的に調べる方法論を学びます。実験機器を実際に扱ってデータを取得しますので、卒業研究の模擬体験ともなります。



MESSAGE

学生メッセージ

● 4年生 R. I. さん (諏訪高校出身)

共に学び共に泣き、共に笑った4年間

運動が好きでその楽しさを子ども達にも伝えたいという同じ志をもった個性豊かな人たちと出会うことができます。時には辛いこと、苦しいことも皆で切磋琢磨し、乗り越え、共に成長していけるかけがえのない仲間となりました。ここで出会えた仲間との思い出は、将来の自分を笑顔にしてくれる大切な時間となるでしょう。

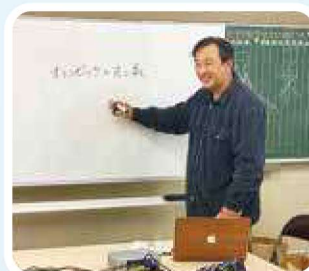


教員メッセージ

● 加藤朋之 先生 (専門分野：スポーツ社会学)

立ち止まるな、新たな知の世界がまっている。常識は過去のもの。

保健体育には詩学があります。保健体育には哲学があります。走ること、投げること、叫ぶこと、笑うこと、人の身体は本当に不思議のかたまりです。保健体育を学ぶということは、まさにこの不思議と対峙することに他なりません。保健体育の教員になるということは、この不思議に立ち向かうことに他なりません。



山梨県小学校教員養成 特別教育プログラム

山梨県内外の教育課題について広い視野から探究する

第一に、次代の山梨県の小学校教育を担う教員を養成すべく、山梨県教育委員会や教職大学院、附属学校などと連携を図り、山梨県内の教育課題について実践的に学び、その実践的な知識が学術的にどのような意味があるのか、国内外の教育課題とどのように連動しているのか、深く検討します。第二に、デジタル化やグローバル化といった社会の大きな流れに対して教員として対応する力を身につけるとともに、批判的に考えられる態度を身につけます。第三に、学んだ成果を他者に伝えることが重視され、レポートやプレゼンテーションの機会が頻繁に用意されます。なお、本プログラムには「山梨県の小学校教員志望者推薦入試」による入学者が在籍します。



● カリキュラム・特徴ある授業や取り組み ●

教育現場を肌で感じる実践中心の授業、小学生のこころとからだの発達に関する理論中心の授業、山梨県内外の教育をとりまく最先端の課題を探究する授業、実践と理論をつなぐためのデータリテラシーとICTスキルに関する授業など、現代の教育に対して多様な観点から学びます。1～2年次は主として教員免許に必要な授業を履修することになるので、プログラムの専門科目の多くは3～4年次に用意されています。

● 主な授業科目

1年次	2年次	3年次	4年次
教育フィールド体験Ⅰ 子どもの育ちを支える校種間連携	デジタル教材の開発 小学校における多文化共生	学校外体験実習 海外学校観察実習 教育データの分析法 地域素材の教材化 小学生のこころの発達	教育フィールド体験Ⅱ 小学校教師論 山梨の教育事情 小学生の運動発達 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ

教育フィールド体験Ⅰ(附属小学校)

本プログラムの専門科目で、学生の皆さんが最初に出会う授業です。この授業では、実際に小学校へお邪魔して、教育現場における教師－児童の関わりと児童同士の関わりを観察します。この実地体験を実りあるものにするため、「こころとからだ」の発達の視点を学び、体験から得た学びを理論的に位置づけます。



入学前教育から学部入門ゼミへの接続

入学前教育では、特定のテーマに関するレポートを書きます。入学後の学部入門ゼミで、レポートの書き方に関するいくつかのルールを学びながら、入学前教育で提出した自身のレポートの推敲をします。この一連の作業でレポート執筆に必要なスキルを実践的に学びます。



MESSAGE

学生メッセージ

● 2年生 K. I. さん (甲府東高校出身)

学習から学修へ、同じ夢を持つ仲間と学ぶ日々を過ごしませんか

特プロは小学校教育に特化した専門科目を通してより具体的に指導法を学べる場です。観察して発表するという機会が多いため、仲間との視点の違いや多様な考えに触れることができ、何より実用的な学びを得ることができます。小学校教員を目指す人にはこれ以上ない環境です。仲間と先輩と、ぜひ一緒に楽しく学びませんか。



教員メッセージ

● 田中健史朗 先生 (専門分野：カウンセリング心理学)

小学校教育の「当たり前」を疑い、本質と出会う！

宿題を出すことを法律で禁止している国があります。悪影響があるからです。異なる世界を知ること、宿題の意味を深く考えることができます。本プログラムには、得意な教科が異なる学生が集まります。多様な視点から小学校教育の「当たり前」を疑い、本当に大切なことは何かを理解した山梨県の小学校教員を目指しましょう！



教職支援室

Teaching Support Office

教職支援室は 教員をめざす学生を 全力で応援します！

教職支援室では、学生が主体的に教職へのキャリアを積み重ねていけるように、進路に関する個人面談、教育ボランティア、地域学習アシスト等、学校現場での活動の企画・運営や、教員採用試験対策講座・個別指導、教職支援のための教採データの収集分析を行っています。**4つの領域**ごとにそれぞれの特色を生かし、また関連させながら、学生のみなさんの自主的な学びを尊重しつつ、教職に関する支援を行います。



4 つ の 領 域

教職支援領域

教職への意識喚起や採用に関する相談、
教員採用試験対策まで幅広く支援！

1年次から卒業・修了後までを見据え、学部・大学院の教員、
徽典会（同窓会組織）と連携しながら支援を展開しています。
教員採用試験対策講座や教員採用試験説明会の企画・運営、
教員採用試験に関する個別指導（志願書の検討、小論文指導、
個人面接指導等）、個人面談による進路調査（1～3年生全員
を対象）、教員採用試験合格体験記等の収集・情報提供などを
行っています。

総個別指導回数 2579回
(2022.10～2023.9)

1人当たり

23.6回

教育ボランティア領域

学生が教育現場で子どもとふれあう
「教育ボランティア活動」を支援！

学生と受入先との橋渡しをし、
多様なボランティア活動が両者にと
ってプラスとなるように支援して
います。また、学生運営委員会
の自主運営により、教育ボラン
ティア活動と学生との距離がぐっ
と身近になっています。受入先と
学生のマッチング、ガイダンス・
スタートセミナー・報告会の企画や運営、ガイダンスブックの作成、受
入先訪問、教育ボランティアだより・通信の発行などを行っています。

教員採用試験に合格した
約9割の学生は
教育ボランティアに参加しています

教育ボランティア 平成17年～
参加者数 3202人 令和5年度の
実績(19年間)

年間平均 168.5人

学生カルテ・分析領域

教職キャリア・ポートフォリオ・システムが
学生の自主学習をサポート！

スマートフォンで教員採用試験に関する様々な情報を収集し、
自分の学習状況の確認や振り返りができる教職キャリア・ポ
ートフォリオ・システム（通称：キャリボ）を運用し、教職を目
指す学生の自主学習を支援して
います。また、個に対応するき
め細かな支援を目指し、進路希
望や学習履歴、教員採用試験結
果、進路状況等の教職に関する
調査を幅広く行い、分析も行っ
ています。



教採対策を
進めると...

アバターが
成長！

地域学習アシスト領域

教育ボランティア活動をベースに、その発展形となる新た
な活動を展開！

令和元年度に教育ボランティア活動の発展形となる新たな活動
として、地域学習アシストをスタートさせました。地域学習アシ
ストとは、本学独自の取組で、学生・大学教員・学校が学校現場
の課題を共有し、解決策を探る
プロジェクトです。学校の方針
に基づいた学生のアシスト活動
がより良いものとなるように、
学部生・専攻科生・教職大学院
生と大学教員からなるチームカ
ンファレンスが支援します。



キャリア・就職

Career

関東・東海地方を中心に、
全国各地へ教員を輩出しています。

卒業生の活躍



奥村 かおりさん
南アルプス市立小笠原小学校

山梨

高校生へのメッセージ

高校生活の今しかない時間を思いきり楽しんでください。そして、全力で自分の夢を追いかけてください。チャレンジしたこと、ぶつかった壁はきっとみなさんの力になります。周りの人や自分の思いを大切にしながら、一歩ずつ進んでいってほしいです。

教員としての近況

やさしくて元気いっぱいな子どもたちと過ごす日々は、とても充実しています。悩むこともあります。教員という職業でしか感じるこのできない達成感がたくさんあります。これからも、子どもたちと一緒に学び続けていきたいです。



小森 穂乃果さん
学校法人 安部幼稚園

神奈川

高校生へのメッセージ

高校時代を思い返すと、部活も勉強も夢に向かって必死に頑張ることのできた大切な日々だったと感じます。今だからこそできることを見つけて、素敵な高校生活にしてください。

教員としての近況

子どもの頃からの夢だった職業に就くことができ、子どもたちと共に生きる生活を楽しんでいます。日々、どんなに小さなことでも子どもの成長を感じられることが喜びです。



武川 偉瑠さん
相模原市立中沢中学校

神奈川

高校生へのメッセージ

皆さん一人ひとりには“無限の可能性”があります。自分の可能性を信じて、どんどん挑戦してください。あとは、先を考えることはとても大切ですが、それと同じくらい“今”を楽しむことも大切です。それが未来の自分にとって大きな糧となるはずです！

教員としての近況

2年生の担任と、1～3年生の社会科を担当しています。現場に出てから学ぶことが多く悪戦苦闘している日々ですが、その分やりがいの多い仕事だと感じています。今は特に社会科教育について目下勉強中です。悩み、失敗しながらも成長していきたいと思っています。



荻窪 拓生さん
山梨県立わかば支援学校

山梨

高校生へのメッセージ

皆さんには、なりたい自分がありますか？勉強や部活に忙しい日々を過ごしていると思いますが、高校生のうちになりたい自分を思い描いて欲しいです。そして、色々な事に挑戦して、そこに近付いて下さい。何でもチャレンジは、若者の特権です。

教員としての近況

高等部1年生の担任をしています。生徒一人一人に合わせた支援や教材を工夫するのが、特別支援学校教諭の醍醐味です。自分の作った教材を使って、笑顔で学習活動に取り組む生徒を見ると、日頃の疲れが吹き飛びます。そんな素敵な仕事を一緒にしませんか？

教員就職数とその他の進路

地域別教員就職数

		令和4年度	令和5年度
東 北	青森・岩手・宮城・福島・山形・秋田	1人	2人
	茨城	5人	
	栃木	1人	2人
	群馬	2人	
	埼玉	1人	1人
	千葉		1人
	東京	2人	5人
関 東	神奈川	2人	3人
	山 梨	34人	45人
中 部	長野	2人	4人
	静岡	14人	10人
	愛知	1人	1人
	新潟・富山・石川・福井・岐阜	6人	5人
近畿	京都	1人	
四国	徳島		1人
九州	長崎	1人	

職種別教員就職数

	令和4年度	令和5年度
幼 稚 園 他	8人	4人
小 学 校	35人	38人
中 学 校	17人	20人
高 等 学 校	7人	6人
特 別 支 援 学 校	6人	12人

その他の進路

	令和4年度	令和5年度
企 業	25人	25人
公 務 員	10人	9人
保 育 士	0人	0人
進学(諸学校含む)	13人	12人
そ の 他	5人	2人

主なその他の進路先(令和5年度)

企業・法人等
幼保連携型認定こども園かほるこども園、幼保連携型認定こども園押原こども園、山梨中央銀行、山梨信用金庫、静岡放送、東進ハイスクール、文理学院、株式会社早稲田アカデミー、学習塾 臨海セミナー、KEIPE株式会社、資生堂ジャパン株式会社、ヤマハ発動機ビズパートナー株式会社、他

公務員
山梨県庁、神奈川県庁、東京国税局、甲府市役所、西桂町役場、浜松市役所、会津若松市役所、横浜市役所、栃木県警

進 学
山梨大学大学院教育学研究科教職大学院、山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程、筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群教育学学位プログラム、横浜国立大学教職大学院、青山学院大学大学院文学研究科、山梨大学特別支援教育特別専攻科

令和6年4月1日現在

教職大学院

Graduate School of Education

専門職である教師としての
実践的力量を身につけよう！

山梨大学大学院 教育学研究科 教育実践創成専攻

**2年間400時間の実習で学校現場に生
きる即戦力を養成！現職教員の院生
との協働で深い専門的知識を獲得！**

「学生の皆さん！学校でベテラン教師と肩を
並べて学習指導することに不安がないですか！」
教職大学院では、卒業後の2年間で学校の様々
な教育問題に対応できる即戦力を養成します。

特徴①【実習】県下の連携協力校（小・中・高）
で自分の研究を実証的に進めることができます。

特徴②【授業】大学の研究者教員と学校現場で
豊富な経験をもつ実務家教員のTTで実施、理
論と実践と一緒に学ぶことができます。

教育課題や学校マネジメントを学ぶ「教育実
践開発コース」と小・中・高の教科教育を学ぶ「教
科領域実践開発コース」の2つのコースが用意
されています。



教育実践開発コース

地域や学校の教育課題に対応する力、学校改善をマネジメントす
る力などの総合的な実践力を有する教員を以下の2分野において養
成します。

学校マネジメント分野

学校経営、学校安全と危機管理、
学校改善などに関する力を有し、
学校づくりをリードできる教員を
育成します。

教師力育成分野

学校が抱える様々な問題を解決
する力を有し、カリキュラム開発、
教育臨床、異校種間の連携、地域
との連携を実践する力を有する教
員を育成します。

教科領域実践開発コース

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教材研究をも
とに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることがで
きる教員を以下の2分野において養成します。

初等教科教育分野

小学校の各教科において、質の
高い教材研究をもとに授業を開発
し、それを適切に評価して改善に
役立てることができる教員を養成
します。

中等教科教育分野

中・高等学校の各教科において、
質の高い教材研究をもとに授業を
開発し、それを適切に評価して改
善に役立てることができる教員を
養成します。

院 生 メ ッ セ ー ジ

2年生
S. R. さん
教科領域実践開発コース



教育に関する専門的な理論と実践。両方、徹底的に学ぶ。
それが教師としての自信になる。

本教職大学院では、各教科の内容や学級経営などに関する
専門的な理論等々を、講義を通して深く学修します。また、
実習（年間200h実施）では、実習校の先生方の実践を、間近
で、継続的に学んだり、自らも授業実践等を行ったりするこ
とができます。理論も、実践もどちらも徹底的に学べるこ
ろが本学の魅力だと感じています。

1年生
A. M. さん
教科領域実践開発コース



理論と実践の往還によって自信をもった教育実践へ。
教師としての専門性を高める場

教職大学院の授業は、発見の連続です。先生方の専門性の
高い講義からは新たな気づきを得ることができました。理論
的な学びはもちろん、年間200時間にも及ぶ連携協力校での
教育実習という実践的な学びもあります。授業開発や実践研
究に対する先生方のご指導は、特に魅力的で教育に関する知
見が深まりました。理論と実践の往還を通して、自信をもっ
た教育実践が可能となる環境がここには整っています。

